

経営比較分析表

岩手県 一関市

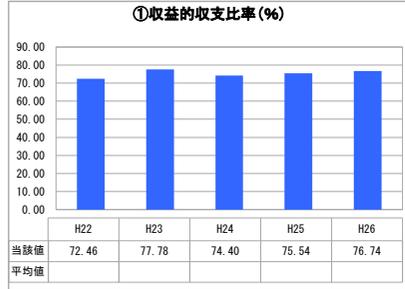
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	公共下水道	Bd2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	28.42	99.59	3,240

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
124,344	1,256.42	98.97
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
35,087	11.88	2,953.45

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成26年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



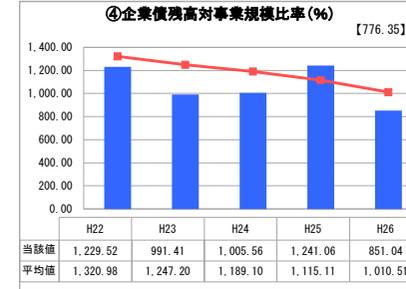
「単年度の収支」



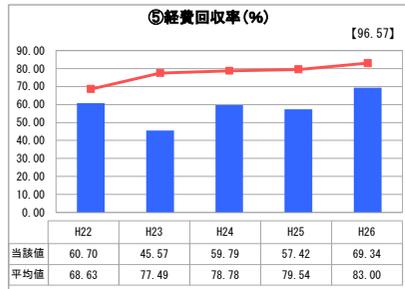
「累積欠損」



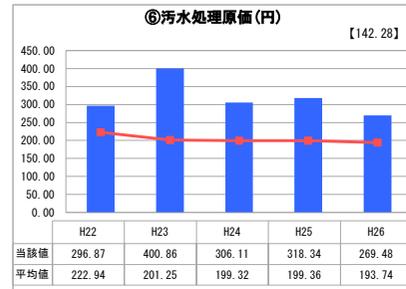
「支払能力」



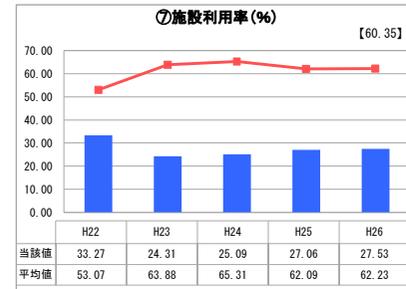
「債務残高」



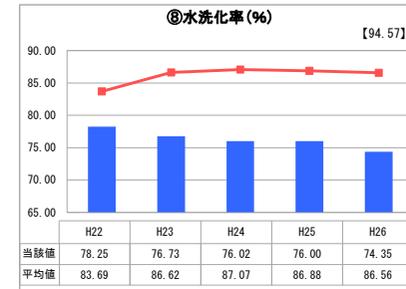
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

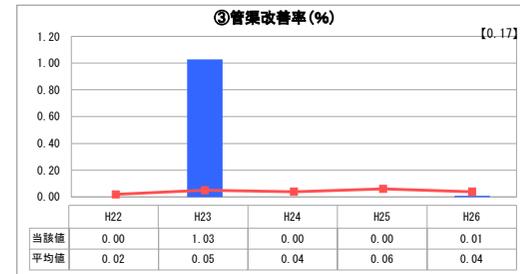
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

単年度収支においては赤字となっているものの、下水道管整備は現在も進行中(一関・千厩地域)であり、処理区域面積が拡大され下水道への接続世帯も増加していることから、右肩上がりの傾向にあります。しかしながら、下水道整備が終了した地域においては、人口減少等により区域内人口など、当初計画と大幅にかい離した状況にあり、施設利用率を下げた要因となっています。

2. 老朽化の状況について

平成23年度は東日本大震災による災害復旧において管渠更新を行ったところです。初期に整備した施設・設備は、経年劣化等による故障なども相次いでおり、計画的な更新が急務であることから、今後、処理区毎に策定する長寿命化計画に基づき、補助事業等を活用しながら施設の維持・更新に努めます。

全体総括

整備が完了した地区において、下水道への接続についての普及活動を行い、施設利用率と水洗化率の向上に取り組みます。また、人口・世帯数の推移等、将来を見据えた整備計画区域の見直しも検討する必要があります。下水道事業の財政状況を明確化するためにも早期に公営企業会計に移行することが望ましいと捉えています。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債務高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。